



本資材は、取扱説明書の一部を抜粋したものです。  
医師の処方および指示に従い、ご使用前に取扱説明書をよく読み、  
正しくお使いください。

TEIJIN

## ハイサンソ ポータブル<sup>®</sup> αⅡをお使いになる方へ

今日から始める！

# 在宅酸素療法(HOT)

## 機器編 ハイサンソ ポータブル<sup>®</sup> αⅡ(Rev.2)



### ① 治療開始の準備

### ② ハイサンソ ポータブル<sup>®</sup> αⅡの使い方

②-1 ACアダプターを使用する場合

②-2 本体電池を使用する場合

②-3 予備電池を使用する場合

### ③ お手入れのしかた

### ④ 故障かな？と思ったら

### ⑤ ご使用にあたっての注意点

本資材は、装置の上面ラベルの色が橙色あるいは黄色の場合が対象です。



# 1 治療開始の準備

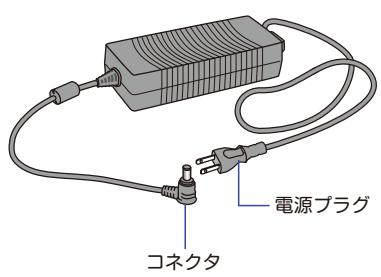
## ● 本体の構成

- 本装置は、携帯型の酸素濃縮装置です。

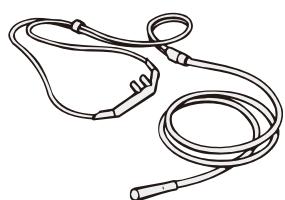


## ● 必要な器具

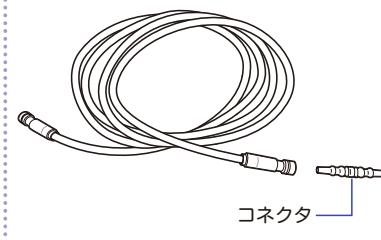
ACアダプター(付属品)



カニューラ



延長用チューブ

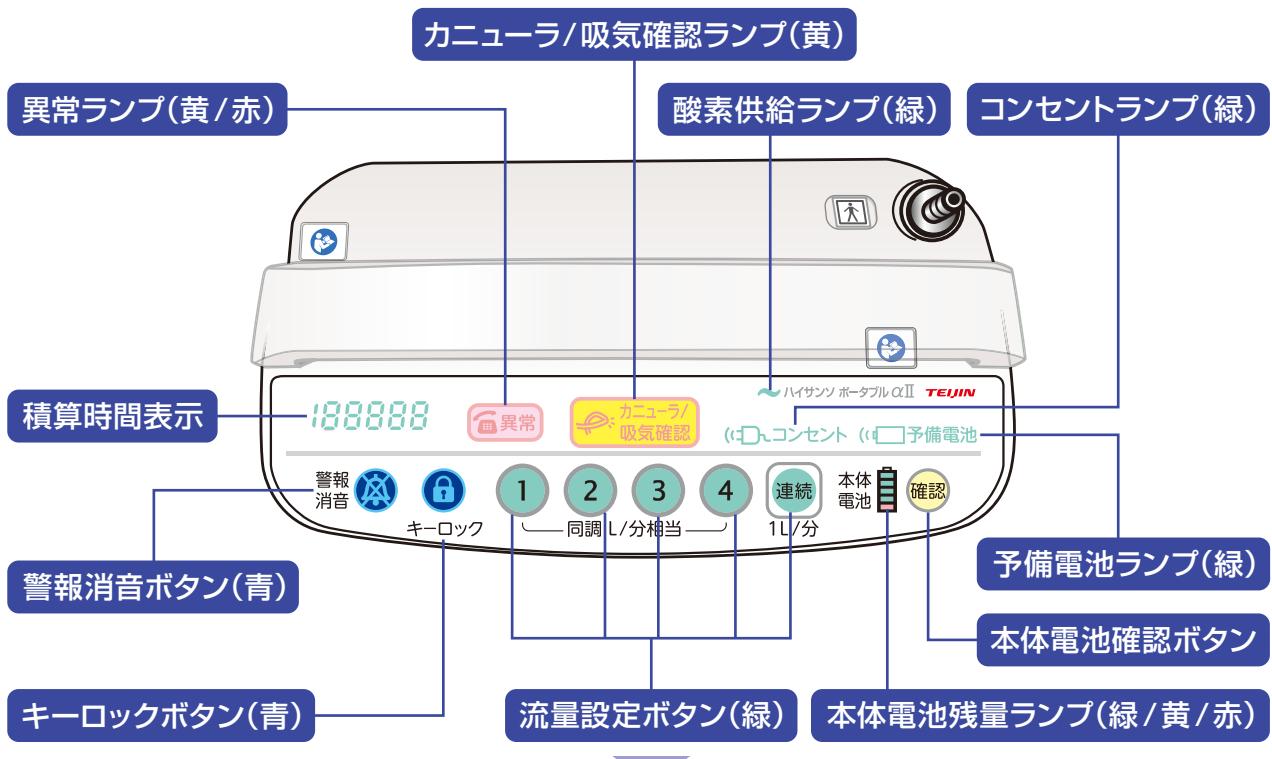


フィルタ  
(予備)



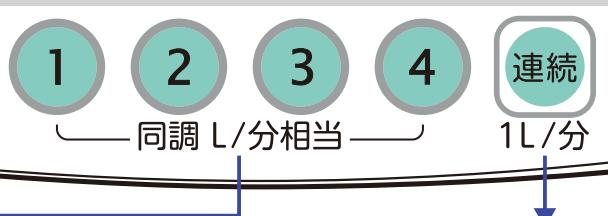
連続モード:10m以内  
同調モード:3m以内

## 操作パネル



【同調モード】と【連続モード】の2種類のモードがあります。

医師の指示に従って、モードを選択してください。



【同調モード】  
吸気を検知した時(鼻で吸った時)に酸素を供給。

一定時間呼吸が検知されない場合は、間欠的に所定量の酸素を供給。

【連続モード】  
呼吸に関係なく連続して酸素を供給。

<一定時間呼吸が検知されない場合>

	ランプ	ブザー
間欠的に酸素が供給されている場合	流量設定ボタン(緑)と酸素供給ランプ(緑)が点滅、もしくは(黄)点灯	ブザーなし
一定時間呼吸が検知されない場合	カニューラ/吸気確認ランプ(黄)点灯	ブザーなし
	カニューラ/吸気確認ランプ(黄)点灯	ブザー(ビビ)

# ① 治療開始の準備

## ● 電源の種類

- 使用できる電源は3種類あります。

AC電源	本体電池 または 本体電池+予備電池	DC電源
家庭用のコンセント に接続   ACアダプター	本体内部の電池 または専用の予備電池を併用   本体電池 + 予備電池(オプション)	自動車等のシガレットライターソケットに接続   DCアダプター(オプション)

## ● 充電時間(ACアダプター)

- 電池が空の状態から満充電までの時間

本体電池	約4時間	予備電池	約3時間30分
------	------	------	---------

※DCアダプターの場合は、充電時間が長くなります。

MEMO

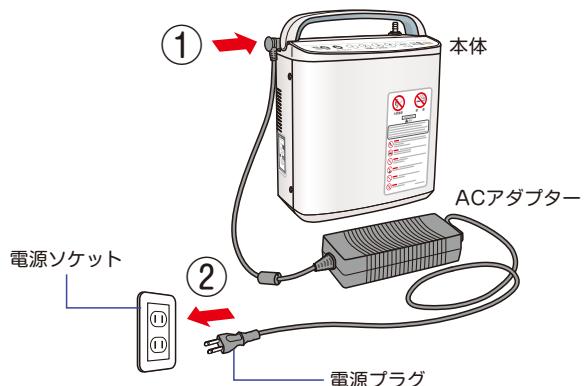


## ● 充電方法(ACアダプター)

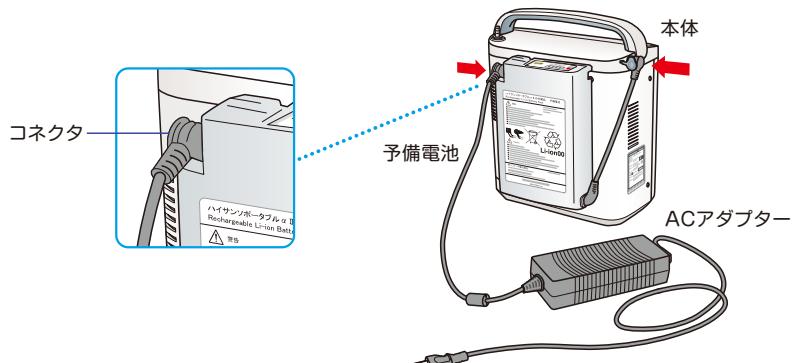
### ● 本体電池を充電する場合

- ① 本体にACアダプターを接続します。
- ② 電源プラグを交流100Vのコンセントへ差し込みます。

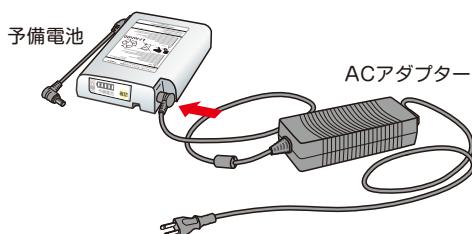
※本体内部の温度により、停止中でもファンが動作することがあります。



### ● 本体電池と予備電池を充電する場合



### ● 予備電池のみを充電する場合



# ① 治療開始の準備

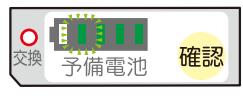
## ● 電池残量ランプ

- 残量を確認するときは、本体電池確認ボタン 確認 または 予備電池確認ボタン 確認 を押してください。

 点灯  点滅

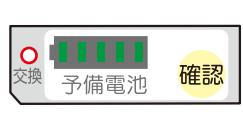
### 充電中

電池残量ランプ(緑)の一部が点滅しています。



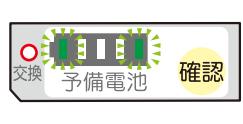
### 満充電

すべての電池残量ランプ(緑)が点灯します。

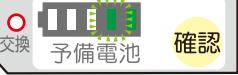
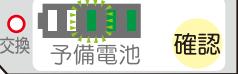


### 一時的に充電できない状態です

酸素は通常通り吸入できます。



### (A) コンセント・シガレットライターソケットに接続しているとき(充電中)

本体電池	予備電池	残量
 本体電池	 交換 予備電池	20%未満
 本体電池	 交換 予備電池	20%～40%
 本体電池	 交換 予備電池	40%～60%
 本体電池	 交換 予備電池	60%～80%
 本体電池	 交換 予備電池	80%～95%
 本体電池	 交換 予備電池	95%～100% 満充電

(B) コンセント・シガレットライターソケットに接続せず運転または停止しているとき(非充電中)

本体電池	ブザーと音声メッセージ	予備電池	残量
	ピ———(15秒間) 「本体電池の残量がなくなりました。コンセントまたは予備電池に接続してください。」		<b>運転不可</b>
	ピ ピ ピ 「本体電池の残量が少なくなりました。コンセントまたは予備電池に接続してください。」		<b>5分未満</b>
			<b>20%未満</b>
			<b>20%～40%</b>
			<b>40%～60%</b>
			<b>60%～80%</b>
			<b>80%～100% 満充電</b>

## ● 電池の使用時間

流量設定	連続1L/分	同調1/分相当	同調2L/分相当	同調3L/分相当	同調4L/分相当
本体電池	約1時間40分	約2時間30分	約2時間30分	約1時間50分	約1時間40分
本体電池 + 予備電池	約3時間10分	約4時間40分	約4時間40分	約3時間20分	約3時間10分

※: 新品・満充電時 25°C の場合の目安です。使用時間は、充電状態や電池の劣化度、使用環境温度またはオートデマンド機能動作状況によって異なります。

## ② ハイサンソ ポータブル<sup>®</sup> aIIの使い方

### ②-1 ACアダプターを使用する場合

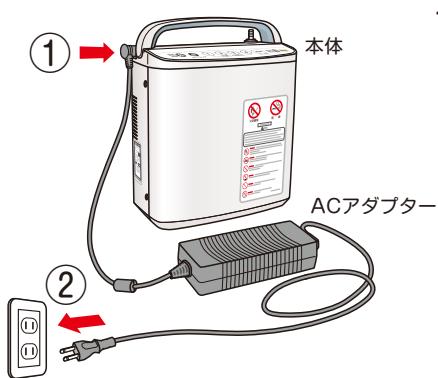
#### チェックポイント

- コンセントで使用する場合、本体とAC電源を接続することができますか？
- 運転を開始または停止することができますか？
- 医師の処方に従って、流量を設定または変更することができますか？
- 酸素を吸入した時に流量ランプが点灯または点滅することができますか？

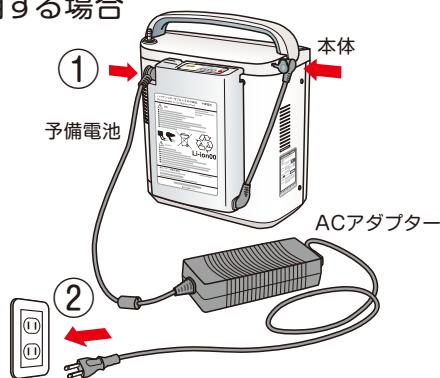
### (1) 電源の接続

- ① ACアダプターを本体(予備電池)に接続します。
- ② 電源プラグを交流100Vのコンセントへ差し込みます。

#### ■ 本体のみで使用する場合

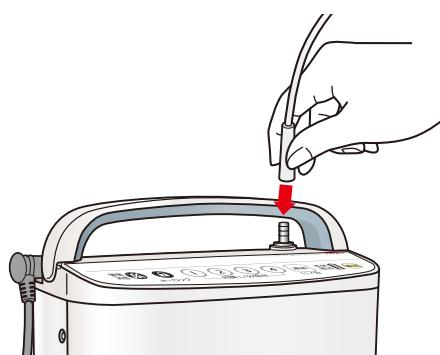


#### ■ 予備電池を充電しながら 本体を使用する場合



### (2) カニューラの接続

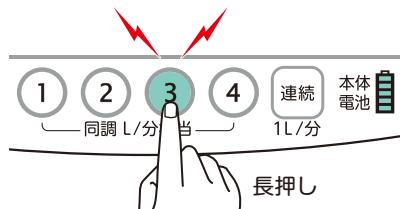
- ① カニューラを酸素取出口に  
取り付けます。



### (3) 運転の開始

- ① 医師が処方した流量の流量設定ボタンを長押しして電源を入れます。電源が入ると「ピッピッピッ」とブザーが3回鳴り全てのランプが3回点滅し、選択した流量設定ボタン(緑)が点灯し、酸素が出ます。

運転を開始すると、「運転を開始します。火の気がないことを確認してください」と音声メッセージが流れ、続いて、現在の設定流量を知らせる音声メッセージが流れます。



!  
ブザー音と各ランプと流量設定ボタン(緑)の点灯を確認してください。

- ② カニューラを装着し、酸素吸入を開始します。

同調モードで運転中は、本装置が吸気を検知すると、酸素供給ランプ(緑)が点滅すると同時に酸素が供給されます。

また、同調モードで運転中に一定時間呼吸が検知されない場合は間欠的に所定量の酸素が供給されます(オートデマンド機能がON設定の場合のみ)。



・酸素が供給されるときに、酸素供給ランプ(緑)が点滅します。

### (4) 運転の停止

- ① 装着していたカニューラを外します。点灯している流量設定ボタン(緑)を長押して本装置を停止させます。

停止の際に「ピー」とブザーが鳴り、「運転を停止します」と音声メッセージが流れます。



※完全に本装置が停止するまでに数秒かかります。

- ② 電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプターを本体または予備電池から外します。運転中電源が切り替わると、「本体電池に切り替えました」、または「予備電池に切り替えました」と音声メッセージが流れます。

## ② ハイサンソ ポータブル<sup>®</sup> αIIの使い方

### チェックポイント

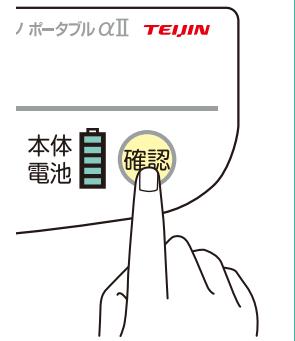
- 電池の残量を確認することができますか？
- ご自身の処方流量での電池使用時間を確認できますか？

### ②-2 本体電池を使用する場合

#### (1) 本体電池残量の確認

使用前に本体電池残量が十分残っていることを確認してください。(参照:P6)

本体電池確認ボタン[確認]を押してください。  
本体電池残量ランプ(緑／赤／黄)が点灯、点滅、  
または消灯し、本体電池残量を表示します。



#### (2) カニューラの接続および運転・停止のしかたは、 P7~8と同じ手順です。

MEMO



## ②-3 予備電池を使用する場合

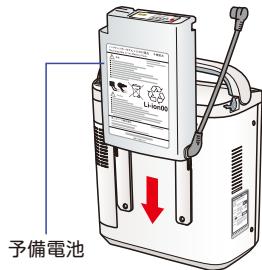
### (1) 予備電池残量の確認

使用前に予備電池残量が十分残っていることを確認してください。(参照:P6)

予備電池確認ボタンを押してください。  
予備電池残量ランプ(緑／赤)が点灯、  
点滅、または消灯し、予備電池残量を表  
示します。



(2) 予備電池を本体背面の予備電池ガイド  
に沿って、上から差し込み、予備電池の  
コネクタ部分を本装置の電源ソケットに  
差し込みます。



運転中に電源が切り替わると●「予備電池に切り替えました」と  
音声メッセージが流れます。

(3) カニューラの接続および運転・停止のしかたは、  
P7~8と同じ手順です。

(4) 予備電池のコネクタ部分を本装置の電源ソケットから  
抜いてください。

運転中に電源が切り替わると●「本体電池に切り替えました」と  
音声メッセージが流れます。

### ③ お手入れのしかた

#### ● 毎週、隨時のお手入れ

##### チェックポイント

- フィルタを毎週、掃除できますか？

お手入れは、必ず本装置を停止して行ってください。

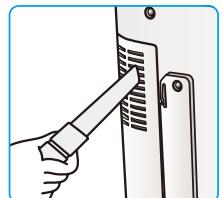
毎  
週

##### フィルタ

フィルタは**毎週掃除してください。**(掃除機等でホコリを取ってください。)

汚れがひどいときは予備のフィルタに交換してください。

空気取入口のツマミ部を軽く押し、右側に引くと外れます。はめるときはフィルタのツマミ部を「カチッ」と音がするまで軽く押し込んでください。



隨  
時

● 本体の操作パネルおよび外装ケースのホコリ等の汚れを取り除くときは、次のものを使用して軽くふき取ってください。

- ・ 乾いた柔らかい布
- ・ よく水をしぼった布
- ・ 家庭用の中性洗剤をつけたスポンジ

\*洗剤を使用した場合は水ぶきして洗剤が残らないようにしてください。

- ! 直接水や洗剤をつけないでください。



## ④ 故障かな？と思ったら

### 故障かなと思ったら…

#### チェックポイント

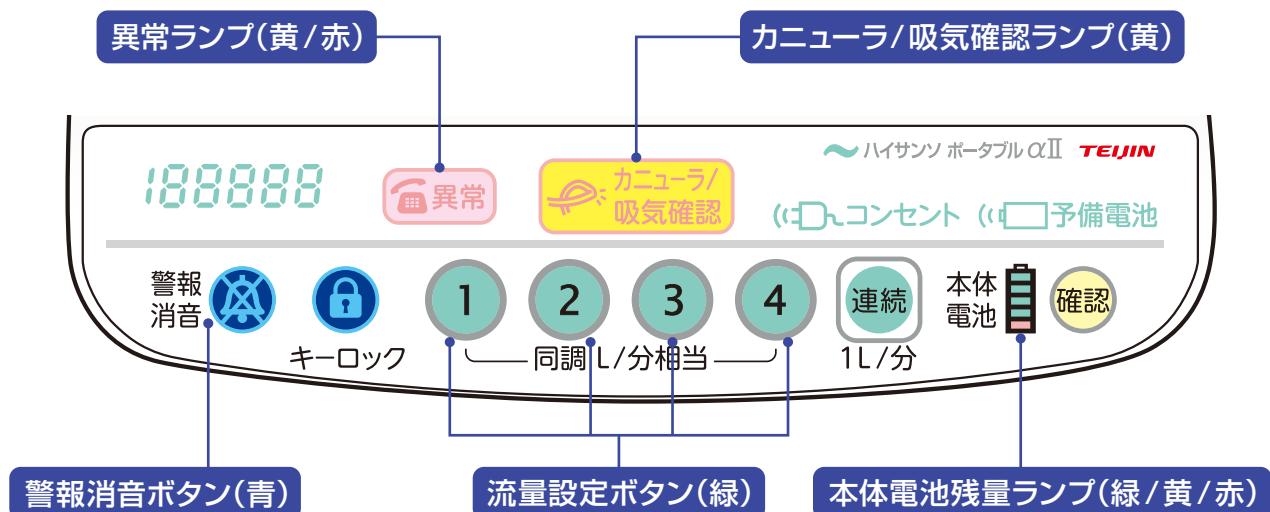
- 異常時に取扱説明書を参照できますか？
- 緊急連絡先はわかりますか？
- 停電、故障時には酸素ボンベ等に切り替えることができますか？  
(酸素ボンベ等を処方されている方)

本装置に異常があった場合、警報のブザー音や異常ランプでお知らせします。

\*ここでは一部のアラームをご紹介します。詳細は取扱説明書P46～53をご参照ください。

赤 ● 黄 ○ 緑 ● 緑 ■ は点灯（ランプがついている状態）を表します。

赤 ● 黄 ○ 緑 ● 緑 ■ は点滅（ランプがついたり消えたりしている状態）を表します。



\*本体に異常が生じた場合は、酸素ボンベ等に切り替えた上で処置を行ってください。(酸素ボンベ等を処方されている方)

\*処置を行っても解決しない場合は、本装置を停止して、装置に貼付している連絡先または裏表紙の連絡先までお問い合わせください。

\*警報のブザー音が作動したときに「警報消音ボタン」を押すと警報のブザー音を停止することができます。(警報によっては、安全のため一定時間経過後(約10分)に再度ブザーが作動します)

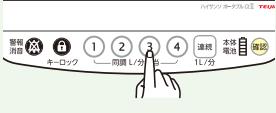
# ④ 故障かな？と思ったら

## 主なアラーム

本装置の状態	音声メッセージ	原因	処置
 <p>異常ランプ(赤)が点滅し、ブザー(ビビビ ビビ)と音声メッセージが鳴っている。</p>	連絡先に電話してください。	本装置内部の機器異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸素ボンベ等の酸素供給源に切り替え</li> <li>酸素事業者へ連絡</li> </ul>
	装置の温度が上昇しています。連絡先に電話してください。	装置の温度上昇による一時的な装置の異常	
 <p>異常ランプ(黄)が点灯し、ブザー(ビビ)と音声メッセージが鳴っている。</p>	連絡先に電話してください。	酸素濃度が低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸素事業者へ連絡</li> </ul>
	装置の温度が高めです。装置が物で覆われていないかなど確認してください。	●空気取入口や排気口が塞がれている ●使用温度範囲を超える場所での設置	
 <p>カニューラランプ(黄)が点灯している。</p>	—	一定時間呼吸を検知していません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カニューラの接続、折れ曲がりなどを確認</li> <li>鼻で呼吸</li> </ul>
	カニューラランプ(黄)が点灯し、ブザー(ビビ)が鳴っている。		

## 電源に関するアラーム

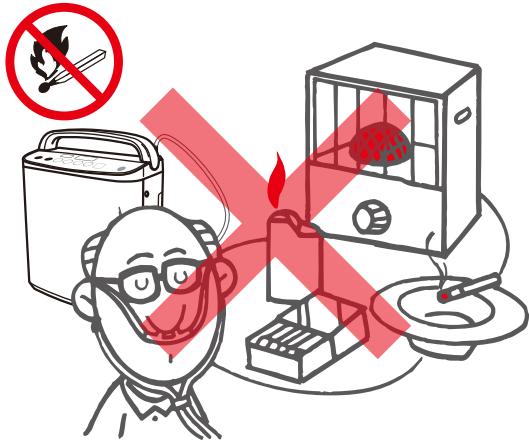
以下の場合は、直ちにACアダプターDCアダプターまたは予備電池に正しく接続してください。

本装置の状態	音声メッセージ	原因	処置
 <p>本体電池残量ランプ(赤)の一番下が点滅し、音声メッセージが流れる。その後、ブザー(ビ―――)が15秒間鳴って停止する。</p>	本体電池の残量がなくなりました。コンセントまたは予備電池に接続してください。	本体電池の残量がない	<停電等の場合> 酸素ボンベ等の酸素供給源に切り替え
 <p>本体電池残量ランプ(黄)の一番下が点灯し、ブザー(ビビ)と音声メッセージが鳴っている。</p>	本体電池の残量が少なくなりました。コンセントまたは予備電池に接続してください。	●本体電池の残量低下 ●電源の供給がない	
 <p>本体電池残量ランプ(緑)の一番上と一番下が点滅し、異常ランプ(黄)が点滅、ブザー(ビビビ)と音声メッセージが鳴っている。</p>	本体電池の交換が必要です。連絡先に電話してください。	本体電池の故障、または著しい劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ACアダプター、DCアダプター、または予備電池に正しく接続し使用</li> <li>酸素事業者へ連絡</li> </ul>
 <p>流量設定ボタンを押しても動作しない。</p>	—	●本体電池の残量がない ●使用または保管環境範囲外 ●本装置内部の異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>しばらく使用環境範囲に置いてなじませてから運転</li> <li>酸素事業者へ連絡</li> </ul>

## ⑥ ご使用にあたっての注意点

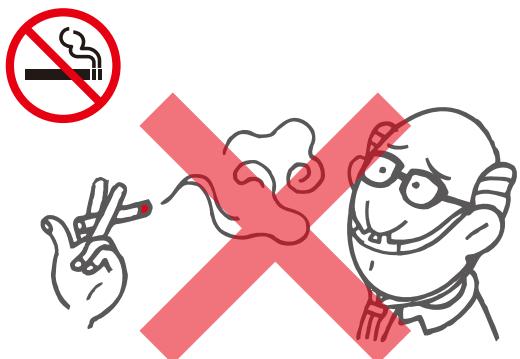
### ● ご使用にあたっての注意

ご使用前に取扱説明書(P4~20)をよくお読みください。



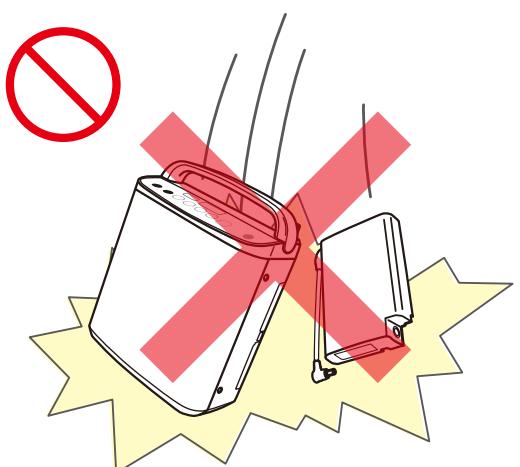
酸素は、それ自体は燃焼しませんが、燃焼を助けるガス(支燃性ガス)です。酸素吸入中は次のような発火源の周囲2m以内に近づかないでください。

- ・高温の熱源
  - ・スパークを発するおそれのある電気機器等
  - ・裸火(タバコ、ライター、ストーブ、マッチ、ロウソク、線香等)
- \* やけど、火災のおそれがあります。



酸素吸入を行っているときは、本人はもちろん周りの人も禁煙を守ってください。

\* やけど、火災のおそれがあります。



落下、転倒させたり、物にぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。

\* 故障や誤作動の原因となります。リチウムイオン電池(本体電池および予備電池)に強い衝撃を与えると破裂したり液漏れすることがあります。

## 連絡先

認証番号: 227ADBZX00202000  
製造販売業者: 帝人ファーマ株式会社  
販売名: ハイサンソ ポータブル® αII

ハイサンソ ポータブル® αIIの  
操作に関する動画を掲載しています。

帝人ファーマ 一般

検索

